



みなさん こんにちは

# 宮教組です

2020年6月

採用2年目に入った教職員のみなさん、お元気ですか。

昨年度1年間は新たな職場、初期研をはじめとした諸研修等、大変だったことでしょう。

また、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休校措置への対応など、年度末から、年度初めにかけて、前例のない状況が続き、戸惑いの連続ではなかったかと思います。このような状況だからこそ「今できる最善のとりくみ」を同僚や子どもたちと進められることを願っています。

わたしたちは、公立小中学校の教職員でつくっている「宮崎県教職員組合」（通称：宮教組）です。わたしたちは、「子どもたちがのびのびと安心して過ごせる学校」、「教職員が助け合い、励まし合いながら安心して働ける学校」をめざし、さまざまな活動に取り組んでいます。

ここで、わたしたちの昨年度の活動を2つ紹介します。

## 教育研究活動



わたしたちは、宮崎県教育研究集会や各種学習会にとりくんでいます。

わたしたちの教育研究活動は、子どもを学びの主体とした「授業の進め方」から、全国学力・学習状況調査や学習指導要領など「教育政策のあり方」にいたるまで多岐にわたっています。

また、毎年開催される教育研究全国集会に宮崎県からも参加し、全国の教職員と実践の交流を行っています。

## “はたらきかた”をかえる

わたしたちは毎年、職場実態調査を実施し、教職員の「はたらきかた」の改善と見直しにとりくんでいます。とりわけ部活動も含めた長時間労働の是正は、学校現場がかかえる最も大きな課題の一つだと言えます。

わたしたちは毎年、賃金をはじめとする労働条件改善にむけた県との交渉を行っています。

昨年の交渉でも、人員増や具体的な業務の削減など、実態調査をもとにした教職員の働き方にかかわる提起を行いました。



何か困ったことや悩みなどがありましたら、**宮教組** に  
気軽にご相談下さい。  
ご意見やご要望でも結構です。遠慮なく、ご連絡下さい。



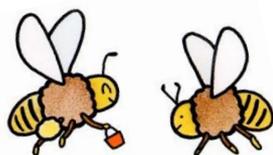
<相談例> 同学年の先生方と比べると、進度が遅くなってしまいます。  
子どもたちどうしの話し合いを大切にしながら、学習を進めていますが、どのように進めていく  
といいのでしょうか。



「同学年の先生方に尋ねたいけれど、何だかお忙しそうなので」とのこと  
でしたが、遠慮せずに相談されるといいと思います。

限られた時数の中で、すべての授業時間を子どもたちの話し合いだけで  
進めていると時間も足りなくなってくることでしょう。「この単元のこの時  
間は、教員の方から教えていく」という時間も必要だと思います。「育てる」  
と「教える」のバランスを考えながら進めていかれてはいかがでしょうか。

<相談例> 臨時教員をしていたこともあり、それぞれの学校で、雰囲気の違いがあることは  
知っています。職場の人間関係、体調面などのプライベートな相談をしたいときがあります。



誰かに話を聞いてほしい、その気持ちはよくわかります。話すことで安心  
したり、話すことで気持ちが落ち着いたりすることは、誰にもあることです。  
どうぞ、組合に電話してください。相談窓口はいつでも開かれています。  
そのことで、みなさんが元気になれば、うれしさ100倍です。

<相談例> 生命保険や自動車保険など、現在いくつかの保険に加入しています。  
「保険の見直し」ってよく聞きますが、どうしたらいいのでしょうか。



共済（保険）を扱っている「教職員共済宮崎県事業所」に尋ねてみたところ、2  
年目の先生方へはご案内をさしあげているとのことでした。

自分が現在加入している保険を含め、あなたに合った保険がすぐにわかります。  
宮崎県教育会館内 教職員共済フリーダイヤル（0120-27-3228）  
へどうぞ。

## 宮崎県教職員組合本部 相談窓口

〒880-0903

宮崎市太田1丁目3-39 宮崎県教育会館内（担当：本）

TEL : 0985-77-5577

FAX : 0985-77-5578



「こんにちは宮教組です」  
QRコード